

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認年月日 2018年4月10日

東京都作業部会確認年月日 2018年4月11日

(予定価格変更に伴う再確認年月日 2019年3月20日)

(契約変更に伴う再確認 2020年3月19日)

事業名 幕張メッセの実施設設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第一弾（幕張メッセ）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意のとおり、当該事業は千葉県及び民間所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担</li> <li>パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく）</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担う。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約、大会運営要件で求められている施設の整備 (平成 31 年 3 月 1 日：起工内容変更確認)</li> <li>レスリング、テコンドー、フェンシング（オリンピック時）、シッティングバレーボール、ゴールボール、車いすフェンシング、テコンドー（パラオリンピック時）競技会場として必要な諸室、スペースを整備</li> </ul>	
	効率性 <ul style="list-style-type: none"> <li>(平成 31 年 3 月 1 日：起工内容変更確認)</li> <li>入札業者見積りに対し、競技会場の機能が確保できる範囲で、適切なコスト縮減を行った。</li> <li>V3 会場整備全体予算の範囲内であるとともに、発注内容の精査を行い、効率化を図っている。</li> </ul>	
	納得性 <ul style="list-style-type: none"> <li>(平成 31 年 3 月 1 日：起工内容変更確認)</li> <li>実勢価格を設定しており、妥当である。</li> <li>工事費は V3 会場整備全体予算に収まる。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意で公費負担とされた、千葉県及び民間所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>(平成 31 年 3 月 1 日：起工内容変更確認)</li> <li>V3 会場整備全体予算内</li> </ul>	

	(令和2年3月11日追記) 令和2年2月20日設計業務完了により、施工内容を確定させた。単価については、コストコンサルタントの査定を受けている。変更後契約金額はV4予算内である。	
--	--	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

(契約変更に伴う再確認 2020年3月19日)

事業名 武蔵野の森総合スポーツプラザの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会のオーバーレイ）を除き都の負担</li> <li>パラ経費の対象（算出方法は大卒合意に基づく）</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うことになっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>バドミントン、近代五種（フェンシング）及び車いすバスケットボール競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意で工費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、工費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>V2 予算内 (令和2年3月11日追記) 令和2年2月14日設計業務完了により、施工内容を確定させた。単価については、コストコンサルタントの査定を受けている。変更後契約金額はV4予算内である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

## &lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

(契約変更に伴う再確認 2020年3月19日)

事業名 東京スタジアムの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（東京スタジアム）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会のオーバーレイ）を除き都の負担</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うことになっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>サッカー、ラグビー及び近代五種（水泳、フェンシング、馬術、レーザーラン）競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意で工費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、工費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>V2 予算内 (令和 2 年 3 月 11 日追記) 令和 2 年 1 月 31 日設計業務完了により、施工内容を確定させた。単価については、コストコンサルタントの査定を受けている。変更後契約金額は V4 予算内である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

(契約変更に伴う再確認 2020年3月19日)

事業名 武蔵野の森公園の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（武蔵野の森公園）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっていることとなっている</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>自転車ロードレース競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考え</li> <li>V2 予算内 (令和 2 年 3 月 11 日追記) 令和 2 年 1 月 31 日設計業務完了により、施工内容を確定させた。単価については、コストコンサルタントの査定を受けている。変更後契約金額は V4 予算内である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。